

学校運営委員会だより

第5号 事務局（通算157号）

天候が心配されましたが、当日には陸上記録会があり、子どもたちの熱気も冷めやらぬ中、10月7日（火）に本校にて学校運営委員会が実施されました。

令和7年度 学校運営委員・事務局の紹介（敬称略）

〈委員長〉 細越 淳二（国土館大学 教授）	佐藤 芳秋（学校支援コーディネーター）
戸崎 啓一（元PTA会長）	
廣川 哲（地域関係者）	吉田 太一（オヤジの会会長）
佐々木 潤（元オヤジの会会長）	中村 千里（PTA会長）
佐藤 弘典（本校 校長）	
〈事務局〉 寺西 智恵（副校長） 金井 雅弘（主幹教諭）	小関 智子（主幹教諭）

【学校運営委員会報告】

1 委員長あいさつ

本日陸上記録会があり、予定通りに行われたということでよかったです。

2 校長あいさつ

地域が主催のサマーワークショップ・城山こどもまつり、城山キャンプが行われました。こどもまつりでは、おやじの会での花火や子どもたちが実行委員として携わり、タレントショーを披露していました。それを見守る子どもたちの温かい目が素敵でした。また、サマーワークショップでは、6年生が講師としてタブレットで絵を描く講座を開いていました。6年生が頼もしく感じました。

9月22日には、キャリア教育視察のため、新潟市教育委員会が来校しました。成長に応じて社会を広げていく経験をさせることや、キャリアパスポートに自ら成長を残すことに興味を示していました。本校独自の学習成果発表についても質問されていました。

3 質疑応答

委員 A：授業公開で外国語を見ました。ドキドキしながら参観しました。ALTが授業を盛り上げることが上手でした。陸上記録会については、わが子は張り切って練習していて楽しそうに過ごしていました。

委員 B：陸上記録会を見ていて、競技ものは人が集まると思いました。運動会のような演出を期待している保護者がまだ多いようです。徐々に意識を変えていくことが大切です。先生方がタイムを計るなど色々大変そうだと感じました。

校長：陸上記録会は授業の一環として取り組んでいます。順位ではなく自分の取り組みに対してやりがいを感じ、「楽しかった」という感想がありました。一番最後にゴールした子が全力で取り組む姿を見て感動しました。本校が目指しているところに近付いているなと感じています。

校長：来年度、学校運営委員会の形が変わる予定です。

委員 A：学校支援コーディネーターの位置づけはどのようなものなのでしょう。

→町探検や農作業、昔遊び等でお手伝いをしてくださる大人を探し、学校とつないだり、活動の下準備を手助けしたりします。

委員 C：来年度発足するであろう学校運営協議会の実行チームに予算がつくということは、コーディネーターは構成員になるということですね。

→何をどのように予算を使っていくかは、今後の検討事項です。

*その他、PTA の今後の在り方について、様々な議論がされました。加入率を上げるための策を、他校の例も参考にしつつ模索しているところである、ということが報告されました。

5 次回開催日程

11月11日（火）18:00～